



163-1 多くの製品はリサイクル素材から作られている。

Many products are made from () ().

Tip 「リサイクル素材 → リサイクルされた素材」。

「リサイクルされた」を表す分詞1語を使って名詞を修飾する。

分詞が1語の場合、それを置く位置は？

163-2 出生率の低下はよく議論される問題だ。

The ()()() is a much-discussed issue.

Tip 「出生率の低下」は「低下している出生率」と表現する。

164-1 一人暮らしの高齢者が増えている。

The number of (e)(p)() () is increasing.

Tip 高齢者の「数」が増えているので、主語に **the number of** ~ を使う。「一人暮らしの高齢者」は「一人で暮らしている高齢者」と考え、分詞を含む2語を使って「高齢者」を修飾する。2語で名詞を修飾する場合、それらを置く位置は？

164-2 外国語で書かれたメニューを提供しているレストランもある。

Some restaurants offer ()(w)()(f)().

Tip 「外国語で書かれた」はどう表現する？それを置く位置は？

165 キッチンから強いにおいがする。

(smell / is / coming / there / a strong) from the kitchen.

Tip 「キッチンから来る強いにおいがある」と考えて、**there is** 構文を使う。

166 いすにバッグが置き忘れてあり、女性がそれを手に取ろうとしている。

There on the chair, and the woman is picking it up.

Tip 「いすの上に置き忘れたバッグがある」と考えて、**there is** 構文を使う。

167 犬が飼い主のもとに走って来た。

The dog ()() to his owner.

Tip 「走って来た → 走りながら来た」と表現する。

168 子どもは親の影響を受けて育つ。

()()(i)() by their parents.

Tip 「影響を受けて育つ → 影響されて成長する」と表現する。

「子どもは → 子どもたちは」

163-1 Many products are made from **recycled materials**.

F 103

▶ 分詞には現在分詞(*doing*)と過去分詞(*done*)があり、それらが形容詞の働きをして名詞を前から修飾し、名詞の意味を限定することがある。この用法を分詞の**限定用法**と呼ぶ。現在分詞の場合、「～している」という能動の意味を表し、過去分詞の場合、「～される、～された」という受動の意味を表す。この文では過去分詞 **recycled** が名詞 **materials** を修飾している。

○ **recycled material** 「リサイクル素材」

163-2 The **declining birth rate** is a much-discussed issue.

F 103

▶ 分詞1語の場合、通例、名詞の前に分詞を置いて修飾する(分詞の**前置修飾**)。この文では **declining** が **birth rate** を前から修飾している。**much-discussed** も分詞形容詞。

○ **declining birth rate** 「出生率の低下」 ⇔ **rising birth rate** 「出生率の上昇」

164-1 The number of **elderly people living alone** is increasing.

F 103

▶ 分詞句(分詞を含む2語以上の語のかたまり)の場合、名詞の後に分詞句を置いて修飾する(分詞の**後置修飾**)。現在分詞を使った分詞句 **living alone** が、名詞句 **elderly people** 「高齢者」を後ろから修飾している。→ VI18-p.7

○ **live alone** 「一人暮らしする」

164-2 Some restaurants offer **menus written in foreign languages**.

F 103

▶ この文では過去分詞を使った分詞句 **written in foreign languages** が、名詞 **menus** を後ろから修飾している。→ 164-1

165 **There is a strong smell coming** from the kitchen.

□ **There is S doing** 「～している S がある[いる]、S が～している」

▶ S is doing という能動の関係(a strong smell is coming)を含む **there is** 構文。

166 **There is a bag left** on the chair, and the woman is picking it up.

□ **There is S done** 「～される S がある[いる]、S が～される」

▶ S is done という受動の関係(a bag is left)を含む **there is** 構文。

167 The dog **came running** to his owner.

▶ 分詞には限定用法だけでなく、補語として使う**叙述用法**もある。

▶ SVC の C が現在分詞。S と C が能動の関係。

The dog was running. (犬は走っていた。) [能動]

→ **The dog came running.** (犬は走ってやつて来た。)

S V C

168 **Children grow up influenced** by their parents.

▶ SVC の C が過去分詞。S と C が受動の関係。

Children are influenced by their parents.

(子どもは親の影響を受ける。) [受動]

→ **Children grow up influenced** by their parents.

S V C

(子どもは親の影響を受けて育つ。)

169 お待たせしてしまって申し訳ありません。

I'm sorry to () () () ().

Tip 「待たせる」は「あなたを待っている状態にしておく」と考え、to不定詞の中をVOCで表す。「待たせておく」動作が継続しているので時制はどうする?

170 何か進展があれば随时私に知らせておいてください。

Please (k) () (i) of any developments.

Tip 「私」が「知らされている」状態を「保つ」と表現する。
受動の関係を含む、VOCの表現。

169
173

171 昨夜のコンサートで先生が踊っているのを見た。

I at the concert last night.

Tip 「先生」が「踊っている」という能動の関係を含む〈知覚動詞+O+C〉の表現。

172 私は名前を呼ばれて辺りを見回した。

I () my () (c) and looked around.

Tip 「名前を呼ばれる」は「名前が呼ばれるのが聞こえる」と表現する。
受動の関係を含む〈知覚動詞+O+C〉の表現。

173 昨夜のコンサートで先生は踊っているところを見られた。

My teacher () () () at the concert last night.

Tip 〈知覚動詞+O+現在分詞〉を受動態にすると?

Self Check

File 25 SVOC(C=分詞)の形をとる動詞: [] + O + doing/done

- keep + O + C 「OをC[の状態]にしておく」
- leave + O + C 「OをC[の状態]に放つておく」
- find + O + C 「OがC[の状態]であるとわかる」
- want + O + C 「OがCする[される]のを望む」
- catch + O + C 「OがCしているところを見つける」

Words to Use  keep / inform / see / hear / call

169 I'm sorry to have kept you waiting.

F 105 ▶ to不定詞の中での(S)VOCのCが現在分詞。O(you)とC(waiting)は能動の関係。受動の関係ではない(×keep you waited)。「これまでずっと待たせておいた」という意味で、完了不定詞(to have kept ...)にする。

I kept you waiting for an hour. (私はあなたを1時間待たせた。)
 $\begin{array}{ccc} S & V & O \\ & & C \end{array}$

You were waiting. (あなたは待っていた。) [能動の関係]

keep A doing 「Aに～させ続ける」

170 Please keep me informed of any developments.

F 105 ▶ (S)VOCのCが過去分詞。O(me)とC(informed)は受動の関係。

Keep me informed. (随时私に知らせておいて。)
 $\begin{array}{ccc} V & O & C \end{array}$

I am informed. (私は知らされている。) [受動の関係]

be informed of A 「Aについて知らされている」

171 I saw my teacher dancing at the concert last night.

F 106 ▶ 知覚動詞+O+現在分詞。O(my teacher)とC(dancing)は能動の関係。
→ VI 19-p.8

I saw him dancing. (彼が踊っているのを見た。)
 $\begin{array}{ccc} S & V & O \\ & & C \end{array}$

He was dancing. (彼は踊っていた。) [能動]

172 I heard my name called and looked around.

F 106 ▶ 知覚動詞+O+過去分詞。O(my name)とC(called)は受動の関係。

I heard my name called. (自分の名前が呼ばれるのが聞こえた。)
 $\begin{array}{ccc} S & V & O \\ & & C \end{array}$

My name was called. (私の名前が呼ばれた。) [受動]

look around 「見回す」

173 My teacher was seen dancing at the concert last night.

A is seen doing 「Aは～しているところを見られる」一動作の途中の一時点。

▶ see A doing 「Aが～しているのが見える」の受動態。

⊕ A is seen to do 「Aは～するのを見られる」一動作の最初から最後まで。 → 123

7

分詞

復習

File 26 知覚動詞+O+現在分詞/過去分詞: [] + O + doing/done

- see A doing/done 「Aが～している[される]のが見える」
- look at A doing/done 「Aが～している[される]のを見る」
- watch A doing/done 「Aが～している[される]のじっと見る」
- hear A doing/done 「Aが～している[される]のが聞こえる」
- listen to A doing 「Aが～しているの聞く」
- feel A doing/done 「Aが～している[される]の感じる」
- notice [observe] A doing/done 「Aが～している[される]のに気づく」

174-1 写真を撮られるのが好きではない人もいる。

Some people do not like () their picture ().

Tip 「写真を撮られる → 自身の写真を撮ってもらう」。
「…を～してもらう」という使役を表す表現は?

174-2 私はローマの地下鉄で財布を盗まれた。

I (h) my wallet () on the subway in Rome.

Tip 「…を～される」という被害を表す表現は?

174
179

174-3 明日までにこのレポートを仕上げる必要がある。

I need to (g) this paper () by tomorrow.

Tip 「レポートを仕上げる → レポートを終えてしまう」という完了を表す表現。

175 私は何とか英語で意味を伝えることができた。

I managed to ()()() in English.

Tip 「意味を伝える → 自分自身を(相手から)理解されるようにする」と表現する。

176 騒音の中、私は自分の声を届けるために大声を出さなければならなかった。

I had to shout to ()()() above the noise.

Tip 「自分の声を届ける → 自分自身を(相手に)聞かれるようにする」と表現する。

177 ケンは涙を流しながらその映画を見た。

Ken watched the movie ()(t)(r) down his face.

Tip 「涙を流しながら → 涙が流れる状態で」と表現する。
「涙」が「流れる」という能動の関係だから分詞の形は?

178 その女性は腕を組んで立っている。

The woman is standing () her (a) ().

Tip 「腕を組んで → 腕が組まれた状態で」と表現する。
「腕」が「組まれる」という受動の関係だから分詞の形は?

179 彼らは今週末の吹奏楽演奏会の練習で忙しい。

They (a) () () for the brass band concert this weekend.

Tip 「練習で忙しい → 練習するのに忙しい」と表現する。

174-1 Some people do not like **having** their picture **taken**.

F 107 ▶ **have [get] + O + 過去分詞**は、以下の3つの意味を表す。

□ **have A done** ①使役・依頼「A(物)を～してもらう」
get A done ②被害「A(物)を～される」
③完了「A(物事)を(自分で)～してしまう」

Aは目的語(O)。Aと過去分詞は「Aが～される」という関係(A is done)。

They had **their picture taken**. (彼らは写真を撮ってもらった。) [依頼]
S V O C

Their picture was taken. (彼らの写真が撮られた。) [受動]

174-2 I **had** my wallet **stolen** on the subway in Rome.

F 107 ▶ 〈have + O + 過去分詞〉が被害を表す。→ 174-1

I **had** **my wallet stolen**. (私は財布を盗まれた。) [被害]
S V O C

My wallet was stolen (財布が盗まれた。) [受動]

○ **steal** 「～を盗む」一活用は steal—stole—stolen

174-3 I need to **get** this paper **finished [done]** by tomorrow.

▶ **get + O + 過去分詞**が完了を表す。→ 174-1

○ **get A finished / get A done** 「Aを終わらせる」

175 I managed to **make myself understood** in English.

F 107 □ **make oneself understood** 「自分の言うことを理解してもらう」

○ **manage to do** 「何とか～する」

176 I had to shout to **make myself heard** above the noise.

F 107 □ **make oneself heard** 「自分の声を聞かせる」

○ **above [over] the noise** 「騒音より大きく、騒音に負けないくらいに」

177 Ken watched the movie **with tears running** down his face.

F 112 □ **with A doing** 「Aが～している状態で」

▶ Aと現在分詞は能動の関係(A is doing)。「～している状態で」という付帯状況。
○ **tears run down A** 「Aを涙が流れ落ちる」—tearsは複数形

178 The woman is standing **with her arms crossed [folded]**.

F 112 □ **with A done** 「Aが～された状態で」

▶ Aと過去分詞は受動の関係(A is done)。「～された状態で」という付帯状況。
○ **cross one's arms / fold one's arms** 「腕を組む」

179 They **are busy practicing** for the brass band concert this weekend.

□ **be busy (in) doing** 「～するのに忙しい」

180 多くの子どもはスクリーンを見るのに時間を使い過ぎだ。

□□□ Many children () () () (t) (l) () screens.

Tip 「スクリーンを見ながらあまりにも多くの時間を過ごす」と表現する。

181 多くの家庭が子どもの教育費の支払いに苦労している。

□□□ Many families () (d) () () their children's education.

Tip 「支払いに苦労している → 支払うのに困難を持っている」と表現する。

182 その男性はカフェで新聞を読みながらコーヒーを飲んでいる。

□□□ The man is drinking coffee, () () () in a café.

Tip 2つの事柄が同時に起こっているときに使う構文は? 「～しながら…」

183 アプリの使い方がわからず、友達に助けを求めた。

□□□ () (k) (h) () use the app, I asked my friends for help.

Tip 「使い方がわからず → 使い方を知らないので」と表現する。Because [Since] I don't know ...と同じ意味を分詞構文で表すと? 否定形の分詞構文の形は?

180
185

184 本を読み終えて、図書館に返却した。

□□□ () () reading the book, I returned it to the library.

Tip 「読み終えた」のは「返した」よりも前のこと。

After I (had) finished ...と同じ意味を分詞構文で表すと? 完了形の分詞構文。

185 山の上から見ると、街はとても小さく見える。

□□□ () () the top of the mountain, the city looks very small.

Tip 「街を)山の上から見ると → (街は)山の上から見られる」という受動の関係。

Grasp 10 分詞構文の主な意味

□ 付帯状況・同時に起こっている2つの事柄 「～しながら、～の状態で」

We stayed up all night(,) talking on the phone.

(電話で話しながら、私たちは夜を明かした。)

□ 時 「～する時に、～している時に、～していく」

I hurt my knee playing soccer. (サッカーをしている時に、ひざをけがした。)

□ 連続した動作や出来事 「～して(それから)…する」

Taking a key out of my bag, I opened the door.

(バッグから鍵を取り出して、私はドアを開けた。)

□ 理由・原因 「～なので、～だから」

Feeling sick, I went to see a doctor. (体調が悪かったので、医者に診てもらった。)

180 Many children spend too much time looking at screens.

□ spend A (in) doing 「～して A(時間)を過ごす、～して A(金・労力)を費やす」

○ look at a screen 「(スマホなどの)スクリーン[画面]を見る」

181 Many families have difficulty paying for their children's education.

□ have difficulty [trouble] (in) doing 「～するのに苦労する」

○ children's education 「子どもの教育」

182 The man is drinking coffee(,) reading a newspaper in a café.

F 108 ▶ 分詞句が副詞の働きをするものを分詞構文と呼ぶ。分詞構文がどういう意味を表すかは文脈による。→ Grasp 10 この文では「～しながら」という付帯状況を表している。分詞構文の前のコンマは付けても付けなくてもよい。

183 Not knowing how to use the app, I asked my friends for help.

▶ 分詞構文を否定形にする場合は、分詞の直前に not または never を置く。

Because I didn't know how to use the app, I asked my friends for help.

→ Not knowing how to use the app, I asked my friends for help.
否定形の分詞構文

184 Having finished reading the book, I returned it to the library.

▶ 分詞構文の内容が、主節の動詞が表す時よりも「前」の時である場合は、完了形の分詞構文 having + 過去分詞にする。「～して」「～したので」。

After I (had) finished reading the book, I returned it to the library.

→ Having finished reading the book, I returned it to the library.
完了形の分詞構文

185 Seen from the top of the mountain, the city looks very small.

F 108 ▶ 受動態の分詞構文は Being や Having been が省略され、過去分詞で始めることが多い。「～されると → ～すると」、「～されて → ～して」。

When it is seen from the top of the mountain, the city looks very small.

→ (Being) seen from the top of the mountain, the city looks very small.

→ Seen from the top of the mountain, the city looks very small.
受動態の分詞構文

④ 英作文や会話においては、183～185 のような否定形・完了形・受動態の分詞構文を無理に使う必要はない。because, after, when, so などの接続詞を使って表現すればよい。



186 祝日だったので、通りはとてもにぎやかだった。

□□□ () () a public holiday, the streets were very busy.

Tip 主節の主語と分詞構文の主語が一致しない文なので、分詞構文に意味上の主語が必要。主節の主語は the streets 「通り」。分詞構文で表す「祝日なので」には、「時」を表す主語を置く。

187 いろいろ考えると、私たちは空港までタクシーで行ったほうがいい。

□□□ () () (), we should take a taxi to the airport.

Tip 「すべてのことが考慮されると」と表現する。意味上の主語を分詞の前に置く。

188 一般的に言って、人は変化を好まないものだ。

□□□ (G) (), people do not like change.

Tip 「一般的に言えば」を表す定型表現(慣用的な独立分詞構文)は?

186
190

189 ソーシャルメディアの影響を考慮すると、個人情報を共有しないことが重要だ。

□□□ () the (i) () (s) (m), it is important to avoid sharing personal information.

Tip 「～を考慮すれば」を表す定型表現は?

Self
Check

190 外見から判断すると、彼はスポーツが得意かもしれない。

□□□ (J) () his (a), I think he might be good at sports.

Tip 「～から判断すると」を表す定型表現は?



186 It being a public holiday, the streets were very busy.

F 111 ▶ 分詞構文の主語が主節の主語と一致しない場合、意味上の主語を明確にするため、分詞の前に意味上の主語を置く。これを**独立分詞構文**と呼ぶ。この文では、主節の主語は the streets、分詞構文の主語は「時を表す it」。

Because it was a public holiday, the streets were very busy.

→ It being a public holiday, the streets were very busy.
独立分詞構文

⊕ 独立分詞構文はフォーマルな文書や文学的な表現として使われる。英作文や会話では、下記の慣用的な独立分詞構文以外は because などの接続詞を使って表現すればよい。

187 All things considered, we should take a taxi to the airport.

□ all things considered 「すべてのことを考慮すると」

▶ all things が意味上の主語。all things are considered という受動の関係。

188 Generally speaking, people do not like change.

▶ 慣用的な**独立分詞構文**では、分詞の主語が主節の主語と一致していない場合、分詞の前に意味上の主語を置かない。「不特定多数の人々」や「話し手」などが分詞の意味上の主語であり、わざわざ示さなくても意味が通じるためである。

□ generally speaking 「一般的に言えば」

189 Considering [Given] the impact of social media, it is important to avoid sharing personal information.

□ considering A } given A 「A を考慮すれば」

○ impact ①名詞「影響」 ②動詞「～に影響する」

○ avoid doing 「～するのを避ける、～しないようにする」

190 Judging from his appearance, I think he might be good at sports.

F 111 □ judging from [by] A 「A から判断すると」

○ appearance 「外見」

○ be good at A 「A が得意だ」 ⇔ be bad [poor] at A 「A が下手だ、A が苦手だ」

File 27 その他の慣用的な独立分詞構文

- weather permitting 「天気が良ければ」 = if the weather is fine [good, nice]
- frankly speaking 「率直に言えば」 = to be frank with you
- strictly speaking 「厳密に言えば」
- roughly speaking 「大ざっぱに言えば」
- speaking of A = talking of A 「A と言えば」
- considering (that) S'+V' = given (that) S'+V' 「…ということを考慮すれば」
- taking A into consideration 「A を考慮に入れると」
- depending on A 「A に応じて」
- seeing (that) S'+V' 「…なので」 = because S'+V'
- provided [providing, supposing] (that) S'+V' 「…ならば」 = if S'+V' → 247, 248
- granted [granting] (that) S'+V' 「仮に…だとしても」